

① 書けるように覚えるべき問題（記述対策用） について

第1章	第2章	第3章	第4章	第5章	第6章
1-1-1	1-3-7	2-2-1	2-4-6	3-1-1	4-1-1 問1②
1-1-2	1-3-8	2-3-4	2-4-7	3-1-2	4-1-5
1-2-1	1-4-1	2-3-5	2-4-8	3-1-3	5-1-2
1-2-4	1-4-2	2-3-7	2-5-2	3-1-4	5-1-3
1-2-5	1-4-3	2-3-8	2-5-16	3-2-2	5-1-5
1-3-1	1-4-4	2-4-1	2-5-20	3-4-1 問3	5-2-2
1-3-2	1-4-5	2-4-2	2-7-1		5-2-3
1-3-3	1-4-6	2-4-4	2-8-2		5-2-7
1-3-4	1-4-7				5-2-8
1-3-5				5-4-1 問4	

※ これらは基本的・典型的な記述問題として、**「答案に書けるように覚える。」**まで

他の科目の学習時間との関係上で難しい場合には、やむなく「ポイント部分だけ押さえる」でも、

2023. 財務諸表監査の必要性 超難型ストレートに問われることあり。

企業法とは異なる。

② ポイントと監基報規定の確認のための問題（知識確認用）

解答となる**ポイント**を頭でイメージできるように。
& 関連する監基報の規定があれば**基準集**等で確認する。

事後説明書

【問3】 監査人Xが提出予定の、訂正後の連結財務諸表に対する監査報告書に特有の記載事項を、その記載区分とともに具体的に説明しなさい。

令和4年
第4回
第1問
第6問

【問3】

【記載区分】強調事項区分又はその他の事項区分

【記載事項】以前に発行した連結財務諸表を訂正した理由を詳細に記載している連結財務諸表の注記又は訂正報告書の訂正理由を参照し、訂正前の連結財務諸表に対して監査報告書を提出しているが、当該訂正に伴い、訂正後の連結財務諸表に対して監査報告書を提出する旨を記載する。

【関連法令基準等】

【監基報560:15】

「強調又はその他」
って話あったな。

後発事項の所。
たしか監基報560
らへんで見たぞ。

↓
写す

監査論 論文学習法

担当: 大橋講師

1. 短答式試験と論文式試験の違い
2. 監査論の問題の特徴
3. 合格答案を書く能力を付けるために必要な作業
4. 具体的な学習イメージ
5. その他

おまけ 文章問題の答案の書き方

TAC

1. 短答式試験と論文式試験の違い

【短答式試験】：

監査基準・監基報について、文章の○×を判断する（主に間違い探し）

【論文式試験】：

【理論問題】正しい文章で記述・説明する

【事例問題】事例を状況を分析して、リスクの識別・監査手続などの監査上の対応を指摘する。

※関連する監基報の規定を探して、引用するだけの小問もある。

2. 監査論の問題の特徴

【理論問題のイメージ（抜粋）】

短めの問題文で、特定の事柄の趣旨・必要性・理由などを問う問題。

説明問題

令和元年論文式監査論

(監 査 論)

(満点 100 点) { 第 2 問とあわせ
時 間 2 時間 }

第 1 問 (50 点)

問題 1 監査基準の実施基準一 4 には、「監査人は、十分かつ適切な監査証拠を入手するに当たっては、財務諸表における重要な虚偽表示のリスクを暫定的に評価し、リスクに対応した監査手続を、原則として試査に基づき実施しなければならない。」とある。これに関連して、次の **問 1** ～ **問 3** に答えなさい。

問 1 現代の大規模企業では、取引件数が膨大で精査が実施不可能であり経済的合理性がないため、財務諸表監査は原則として試査で行われている。これらの要因のほかに試査が採用される理由を二つ説明しなさい。

問 2 財務諸表監査を仮に精査によって実施しても、財務諸表上に、不正による重要な虚偽の表示がないことについて、必ずしも絶対的な保証が得られるわけではない。その理由を説明しなさい。

典型は丁寧に
クリーンヒット狙う

2. 監査論の問題の特徴

【事例問題のイメージ】

企業・企業環境や不正の状況などが具体的に示され、その状況で必要な対応などを問う問題

(※関連する監基報の規定を探して、引用するだけの小問もある。)

令和3年論文式監査論

(監査論)

(満点 100点) 第1問とあわせ
第2問 2時間

第2問 (50点)

次の【状況】に基づき、以下の **問題1** ~ **問題4** に答えなさい。

【状況】

甲社(上場会社、製造業)の第22期(20X1年4月1日から20X2年3月31日まで)の監査を担当する監査人Xは、甲社グループに関する次の情報に基づいて、当期のグループ監査の計画を立案している。

＜資料1＞ 甲社グループに関する基本情報

- ① 甲社グループは、国内外に子会社を有する、業界の中堅クラスの企業集団であり、販売会社の機能を有する子会社A社、B社、C社及びE社と、新規事業展開を目的とした子会社D社から構成されている。第21期における甲社及び連結子会社の概要は、次のとおりである。

(金額：百万円)

	甲社	A社	B社	C社	D社	E社	単純合計
所在地	国内	国内	海外	海外	国内	海外	
監査人	X	X	X _i	Y	—	—	
売上高	270,000	80,000	75,000	45,000	20,000	10,000	500,000
構成比率	54.0%	16.0%	15.0%	9.0%	4.0%	2.0%	100%
税引前利益	3,700	1,600	1,500	920	160	120	8,000
構成比率	46.25%	20.0%	18.75%	11.5%	2.0%	1.5%	100%

- ② B社の監査人X_iは、監査人Xと同一のネットワーク事務所である。
- ③ C社の監査人Yは、現地の監査人である。
- ④ C社は、買収により取得した会社であり、甲社グループとC社の企業文化の違いは大きく、甲社によれば、過去複数年にわたり監査人Yによる現地の法定監査の過程で、会計処理の軽微な誤謬がいくつか発見されていた。
- ⑤ 甲社はC社の管理部門と月次の決算報告を通じてコミュニケーションを行っているが、業績面がメインの内容となり、C社の内部統制の整備・運用については、C社の経営者に任せている。
- ⑥ D社は、甲社グループ内では異業種であり、甲社グループの主力事業との関連性が乏しく、グループ間取引は少ない状況にあった。

令和3年論文式監査論

＜資料2＞ 監査人Xの重要な構成単位の当初の判定(一部)

- ① 重要性の基準値の指標である税引前利益の構成比率が15%超である場合に、財務的重要性を有すると判断する。
- ② 監査人Xは甲社、A社及びB社を重要な構成単位と識別した。

問題1 監査人Xが甲社、A社及びB社のみを重要な構成単位と識別した理由を答えなさい。

問題2 監査人Xは、構成単位の財務情報の監査又はレビューを実施する場合、構成単位の重要性の基準値を決定しなければならないが、一般にどのように決定すべきか、その理由とともに答えなさい。

問題3 監査人Xによるグループ監査の計画におけるC社への対応について、次の **問題1** 及び **問題2** に答えなさい。

問題1 財務情報に対し作業の実施をする場合、その実施する作業に影響を与える要因を1つ答えなさい。

問題2 財務情報に対する作業を構成単位の監査人Yに依頼する場合、**問題1** の要因に関連付けて、監査人Yと行うコミュニケーションの内容を答えなさい。

問題4 グループ・レベルでの分析的手続の結果、D社の貸付金残高がグループ財務諸表全体としての重要性の基準値を超え、さらに当該貸付金は事業上の合理性が不明瞭なものであることが判明した。D社の財務情報に含まれる貸付金について、必要と考える監査手続を4つ、アサーションに関連付けて答えなさい。

部分点 積み重ねる。

3. 合格答案を書く能力を付けるために必要な作業 **TAC**

【インプット】的学習：テキストの精読

【理論問題】を念頭

(ただし、「じっくり文章を読む」というイメージではない)

目的.

i 主に「趣旨・必要性・理由」の部分 ⇒ テキスト・問題集に近い説明を書けるようにする☆

ii 実施論以降の監基報等の知識整理

⇒ 「どういうことが書いてあるか」「要はどういうこと？」
の確認（必要に応じて、監基報の引用箇所の確認）

※ 問題集の問題は、全て同じ強度で取り組む必要はない。

※ テキスト精読の補助・横串を刺した理解強化のために、岡田講師の論文対策講義

OK.
1分 3つの
局面
大体 = こんだけ
たぶん

【アウトプット】的学習：答練・問題集

【理論・事例】両方

上記☆の内容を正しく書けたかどうかの確認

⇒ 答練（特に、基礎答練）

事例問題のパターンに慣れる

⇒ 高橋講師の論文対策講義や過去問
応用答練以降の事例に基づく答練問題

※ 過去問の事例問題は1・2月に解いても難易度が高すぎてあまり身にならない。

4. 具体的な学習イメージ

【1・2月】	基礎答練の進度・出題範囲 に合わせて <i>総論・実施論</i>	(1)知識・理解の整理（テキストの精読） 岡田講師 論文対策講義で理解の補助 (2)基本的な記述を覚える（テキスト・問題集）
【3・4月】	応用答練の進度・出題範囲 に合わせて	(1)知識・理解の整理（テキストの精読） (2)基本的な記述を覚える（テキスト・問題集）
	<i>総論・実施論</i> 【1・2月】の復習2周目	同 上
	・高橋講師 論文対策講義 ・過去問演習（問題集）	事例形式の問題・応用的な記述問題の傾向や パターンを知る・慣れる。

※ 5月以降は、4月までの内容（知識・理解の整理、記述を覚える、事例対策）の繰り返し

4-2. 問題集に関する留意点

問題集の構成： ● 論点知識確認問題 と ● 論文式過年度問題演習

3月以降でOK

「● 論点知識確認問題」 として掲載される問題のタイプ

- ① 書けるように覚えるべき問題（記述対策用）
- ② ポイントと監基報規定の確認のための問題（知識確認用）
- ③ 用語の意味内容の説明や単純な穴埋め

ミ=テハイメ-ジ.

重要性低い

一回見て確認でOK

4-2. 問題集に関する留意点

① 書けるように覚えるべき問題（記述対策用） について

第1章		第2章		第3章	第4章	第5章	第6章
1-1-1	1-3-7	2-2-1	2-4-6	3-1-1	4-1-1 問1②	5-1-1 問1	6-1-2
1-1-2	1-3-8	2-3-4	2-4-7	3-1-2	4-1-5	5-1-2	
1-2-1	1-4-1	2-3-5	2-4-8	3-1-3	4-2-1	5-1-3	
1-2-4	1-4-2	2-3-7	2-5-2	3-1-4	4-2-2	5-1-5	
1-2-5	1-4-3	2-3-8	2-5-16	3-2-2	4-3-2	5-2-2	
1-3-1	1-4-4	2-4-1	2-5-20	3-4-1 問3		5-2-3	
1-3-2	1-4-5	2-4-2	2-7-1			5-2-7	
1-3-3	1-4-6	2-4-4	2-8-2			5-2-8	
1-3-4	1-4-7					5-4-1 問4	
1-3-5							

平均15/50など
典型の
1問で
平均手前
達すること。

※ これらは基本的・典型的な記述問題として、「答案に書けるように覚える。」まで

他の科目の学習時間との関係上で難しい場合には、やむなく「ポイント部分だけ押さえる」でも。

2023. 財務諸表監査の必要性 超典型ストレートに聞かれることあり。

企業法とは異なる。

4-2. 問題集に関する留意点

- ② ポイントと監基報規定の確認のための問題（知識確認用）
- 前ページの問以外。
解答となるポイントを頭でイメージできるように。書かずでもOK
& 関連する監基報の規定があれば基準集等で確認する。

事後判明事実

問 3 監査人Xが提出予定の、訂正後の連結財務諸表に対する監査報告書に特有の記載事項を、その記載区分とともに具体的に説明しなさい。

「強調又はその他」
って話あったな。

問 3

【記載区分】強調事項区分又はその他の事項区分

【記載事項】以前に発行した連結財務諸表を訂正した理由を詳細に記載している連結財務諸表の注記又は訂正報告書の訂正理由を参照し、訂正前の連結財務諸表に対して監査報告書を提出しているが、当該訂正に伴い、訂正後の連結財務諸表に対して監査報告書を提出する旨を記載する。

関連法令基準等 [監基報560:15]

後発事象の所。
たしか監基報560
らへんで見たぞ。

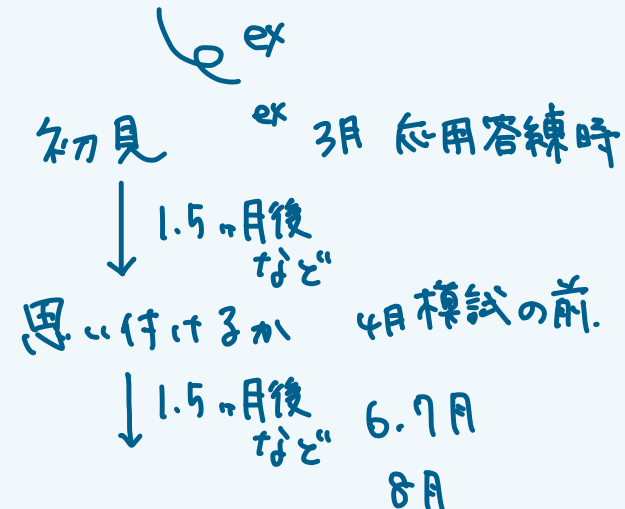
↓
写す

5. その他

1.2月

- 基本的・典型的な記述問題は早めに書けるようにしましょう。
(直前期は書けることの確認だけにしたい。)
- 答練は「繰り返し回す」必要性は低い。
(書けるかどうかの確認・初見の事例問題で正しく指摘できるか)

テキスト・問題集に
印などでOK.



おまけ

例題 1 - 1 （仮にこれが、基本的・典型的な論点であるとします。）

- 筋トレで筋肉を鍛えるときに鶏ささみを食べることが役立つ理由を説明しなさい。 [8行]

（or 役立つかどうかについて説明しなさい。）

例題 1 - 1

- 筋トレで筋肉を鍛えるときに鶏ささみを食べることが役立つ理由を説明しなさい。

解答例

筋肉は、トレーニングにより破壊された筋繊維がその後に回復をする過程で、強く太く発達するが、その過程において必要な栄養素を摂取することが重要である。（①導入）

食事により摂取されたタンパク質は胃の中で消化されると、必要に応じて筋肉をはじめとする人体の構成成分となる。そして、鶏肉には多くのタンパク質が含まれており、中でもささみにはタンパク質が100g当り23g～27gと非常に多く含まれている。（②直接の理由）

そのため、筋トレをして体を鍛えるうえで、鶏ささみを食べることが役立つ。（③結論）

文章問題の答案の書き方(監査論)

ポイント

3.4分ほど

監査論の答案で7、8行の場合、簡単な答案構成をした方が良くことがある。

⇒ ほとんどの場合、解答全体で文章3つ（3段落）で十分。

もし
行数が
長ければ
逆算

- ①導入（一般論・抽象論）
- ②結論を導くための直接の理由
- ③結論

筋肉、トレ、栄養、
タンパク質多
役立ッ

ただし、「③結論」が問題文で挙げられている場合には、それを写すだけ。

※1 解答行数が短い場合には、②・③のみで十分な場合もある。

※2 「定義は必ず書かなければいけない」わけではない。（むしろ必要なことは少ない）

とわざわざ
定義

●解答行数がとても長い場合には定義を書くこともある。

「ささみとは、形が笹の葉に似ている鶏の胸にある肉の部位である。」

コンパートに。

⇒ 解答の冒頭に入れる (①)

●もしくは、結論を導くために、定義そのものを説明することが有効であるとき

Q. リンゴの皮を剥く
A. リンゴの皮を剥く
カキ
リンゴの皮を剥く
リンゴの皮を剥く
リンゴの皮を剥く

例題 1 - 2 (聞かれ方が変わった場合の工夫)

- 筋トレで筋肉を鍛えることと、鶏ささみを食べることの関係を述べなさい。

文章問題の答案の書き方(監査論)

例題 1 - 2

- ① 筋トレで筋肉を鍛えることと、
② 鶏ささみを食べること
の関係を述べなさい。

フラット.

主語が違う.

解答例

ポリマーも
工夫.

筋トレで体を鍛えるうえでは、トレーニングにより筋繊維を破壊し、その後
に十分な休養と食事による栄養素の補給をすることにより、より強く太い筋組
織へと回復させることが必要である。

鶏肉には多くのタンパク質が含まれており、中でも鶏ささみにはタンパク質
が100g当り23g～27gと非常に多く含まれている。このたんぱく質が体内に
吸収され、筋繊維が回復しより強く太くなるための構成成分となり、筋肉の肥
大に資する。

以上より、筋トレで体を鍛えるうえで、鶏ささみを食べることが有効な手段
となるという関係にある。

ポイント

〇〇と〇〇の関係

⇒ 結論の書き方が変わる。(~~という関係にある。)

1段落目と2段落目のバランスが変わる。

例題 1 -3 (〇〇に言及して、〇〇の観点から、という指示がある)

- 鶏ささみを食べることが、筋肉を鍛えることに役立つ理由を、必須アミノ酸に言及しつつ説明しなさい。

文章問題の答案の書き方(監査論)

例題 1-3 (〇〇に言及して、〇〇の観点から、という指示がある)

- [鶏ささみを食べることが、筋肉を鍛えることに役立つ]
理由を、必須アミノ酸に言及しつつ説明しなさい。

解答例

筋肉は、トレーニングにより破壊された筋繊維がその後に回復をする過程で強く太くなるが、その過程においてBCAAなどの必須アミノ酸をはじめとする栄養素を食事により補給することが非常に重要である。

ここで、必須アミノ酸とは、タンパク質を構成するアミノ酸のうち、その動物の体内で十分な量を合成できず栄養分として摂取しなければならないアミノ酸のことをいう。そして、鶏ささみには体内では合成できないBCAAが豊富に含まれており、鶏ささみを通じてこれらが体内で分解・吸収され、筋繊維がより効果的に回復し強く太くなることを促すことができる。

そのため、[鶏ささみを食べることが、筋肉を鍛えることに役立つ。]

典型も
いしエキ

典型
「タンパク質
多い」
↓
エキに
書く

ポイント

たとえば、「リスク・アプローチにより監査が効果的かつ効率的となる理由を述べなさい。」という問題について、「～(同)～理由について、リスクの論理モデル式の観点から説明しなさい。」という問われ方をした場合、解答上で用いる用語や説明の仕方が少し変わる。

(（評価した) 重要な虚偽表示リスク・発見リスク・実証手続などの用語を用いる必要が出てくる)。

例題 1 -4 (基本的・典型的な論点をベースに、解答させるポイント
を変える問題)

- ^{xy}スポーツ選手などがパフォーマンスを維持向上させるために、牛肉、豚肉、鶏肉など様々な種類・部位の肉がある中で、特にいかなる食材を選択することが有効であるかを説明しなさい。

比較の
視点

文章問題の答案の書き方(監査論)

例題 1 -4 (基本的・典型的な論点をベースに、解答させるポイントを変える問題)

- [スポーツ選手などがパフォーマンスを維持向上させるために、牛肉、豚肉、鶏肉など様々な種類・部位の肉がある中で、特にいかなる食材を選択する] ことが有効であるかを説明しなさい。

解答例

スポーツ選手は、競技パフォーマンスの維持向上のために筋力アップを図るとともに適切な体重管理をすることが必要である。

この点、鶏ささみは、他の食肉と比べてたんぱく質が豊富に含まれており、なおかつ脂肪分が少ないことから、筋力アップのために必要なたんぱく質を取りつつ余分な脂肪分の摂取を抑制するために適した食材である。

そのため、スポーツ選手のパフォーマンスを向上させるためには、特に鶏ささみを食べる[ことが有効]である。

結論 問題文から引用

+α
かすめは
OK

典型
に
少し
+α

ポイント

問題の出され方によっては、典型論点のストレートな解答に+αが必要なこともある。

(ただし、合格水準としては、典型論点の解答そのままでも十分なことが多い。)

※例えば、令和5年の第一問では「財務諸表監査の必要性」を問う超典型問題に、「上場会社（の監査）」という要素が加わっていた。

あてはめ → より高い点数へ。
が良いと 56以上へ伸びていくイメージ

問に合わせて工夫。

まとめ

基礎答練時から
問題文の指示に

- 基本となる典型論点は早めに書けるように覚えておきたい。→ 合わせて答える。
(典型論点どおりの場合、以下の答案構成は気にせずに、覚えたとおりに書けばよい)
- 少し長めの答案でも文章は3つほど
(よくある形は①導入・②直接の理由・③結論) あくまで一例。
- 覚えた論点に似ていたとしても、問いに対応した解答を書くことを意識しよう。
(問題文の指示に従う。問題文から指摘すべき要素を考える。)